

# いわき農林水産ニュース

令和元年11月号(第177号) 発行 11月28日

ふくしまからはじめよう。

『食』と『ふるさと』新生運動ニュース



大粒でたんぱく質含量が高い大豆「里のほほえみ」。収穫最盛期を迎えました！

## 目次

- ・【続報】台風第19号等によるいわき管内の被害について……………p.1
- 〔各種取組の実績(10~11月分)〕……………p.4~
- 〔お知らせ・連載記事〕
- ・いわき地方の出荷制限等品目……………p.6
- ・いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果……………p.6
- ・注意喚起情報……………p.7
- ・田んぼの学校⑤成果発表会・閉校式……………p.7
- ・イベント情報……………p.8
- ・第3回高校生レシピコンテスト レシピ大募集!……………p.9
- ・第2回高校生レシピコンテスト受賞レシピ紹介……………p.10
- ・GAP コーナー……………p.11
- ・6次化商品紹介……………p.12

【続報】

## 台風第19号等によるいわき管内の被害について

10月12日から13日にかけて全国各地に被害をもたらした台風第19号及び10月25日の豪雨による被害により、いわき管内は甚大な被害を受け、その影響は今もなお継続しています。

今月は10月号の続報として、台風第19号等によるいわき管内の農林水産業被害及びいわき農林事務所・水産事務所における被害に対する対応状況や今後の支援等についてお知らせします。

なお、県農林水産部では、主な支援策等をまとめた手引き書を作成し、以下のホームページに掲載していますので、災害復旧や営農再開にお役立てください。

「台風第19号等の暴風雨による災害からの農林水産業復旧の手引き」

「台風第19号等による農林水産業被害に対する主な支援対策の概要」

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005b/tebiki.html>

### 1 農業等への被害・復旧支援

農作物への被害は、水稻への冠水のほか、ネギ、トマト、日本なし、花き類など様々な品目に及び被害面積は約311ha、また、平窪地区、小川地区などの園芸施設やイノシシ対策用の電気柵が市内全域で被害を受けており、被害額は約3億8千万円となりました。

当所では、いわき市・JA福島さくらなどと連携しながら、被害状況の把握や技術対応等を行ってきましたが、国・県の支援対策メニューが示されたことを受けて、今後は、営農再建に向けた支援を迅速に進めてまいります。

支援対策は、「農業施設・機械等の修繕・導入への助成」「農地等に堆積した災害廃棄物(土砂、稲わら等)の撤去への助成」「保管中の米が水没した農家の営農再開への助成」「新たに作物を作り直すための種苗代や病害虫防除・施肥への助成」などがあります。具体的な内容につきましては、当所農業振興普及部やいわき市にご相談ください。



(稲わらが流入した水田(四倉地内))



## 2 農地等への被害・復旧支援

農地への被害は、市内の田畑 229 か所に及び、被害額は約 10 億円となっています。

また、排水機場、頭首工、水路など農業用施設への被害も深刻であり、河川の氾濫に伴う水路の埋塞や機械設備の破損、堰の流出など、合わせて 460 か所、被害額は約 34 億円にのぼりました。

このほか、農村集落の下水処理施設である農業集落排水施設への被害も発生し、こちらの被害額は約 3 億 2 千万円となっています。



水没した排水樋門を操作する  
土地改良区職員（好間町）



（大規模出水で消失した取水堰（三和町））

当所では、これらの農地・施設の復旧に向けたいわき市への業務支援を行っており、被害状況の把握調査を始め、復旧に向けた工事計画作成、復旧工事計画の査定（計画に対する国の審査）対応、更には県による重要施設の復旧代行を行っています。（詳しくは、本号 3 ページの記事をご覧ください。）

## 3 林業等への被害・復旧支援

治山関係では、田人地区、三和地区ほか 6 か所において、山腹崩壊、土砂流出が発生しました。国道 289 号沿線では大規模な山腹崩壊が発生し大量の土砂が道路に流出したため、現在も一部通行止めとなっているなど、地域の交通にも大きな影響を及ぼしており、被害額は約 1 億 4 千万円となっています。

また、林道の被害も大きく、110 路線 403 か所において路体崩壊、法面崩壊などが起こり、利用が困難な状況となっており、被害額は約 3 億 9 千万円となっています。林道施設災害復旧事業の災害査定は、12 月 9 日から実施される予定です。

さらに、木材加工流通施設への浸水や、宿泊施設の体育館への土砂流入など林産施設への被害も発生し、被害額は約 1 億円に及んでいます。

今後とも、関係機関と連携し被災地の復旧を進めてまいります。



林地被害  
国道 289 号線沿線の山腹崩壊  
（田人町旅人字江尻地内）



林道被害 内畑線の路面洗掘状況  
（三和町合戸字内畑地内）



田人おふくろの宿体育館の被災状況  
（田人町旅人）



#### 4 水産業への被害・復旧支援

水産関係では、沿岸部での小型漁船の転覆のほか、内水面においても夏井川のサケ築場<sup>やなば</sup>が増水により水没しましたが、濁りが解消されないため、15日現在まだ再開に至っていません。今年もサケの遡上<sup>そしょう</sup>時期を迎えており、一日も早い再開が望めます。



水没した夏井川サケ築場  
(10月17日撮影)

いわき農林事務所・水産事務所では引き続き、本県の復旧・復興に向けて関係機関と連携しながら、農林水産業者・団体への支援に取り組んでまいります。(いわき農林事務所・水産事務所)

#### 農地等災害の復旧を支援しています

台風第19号等による農地や農業用施設(水路・農道・取水堰・排水機場など)のいわき市内の被害額は47億円余りであり、これは東日本大震災の被害額の約2倍となっています。

この甚大な被害からの速やかな復旧を目指し、本号のトップ記事でも触れましたが、当所農村整備部では発災直後から市への支援を行っています。

具体的には、被害を受けた農地や施設の把握、災害復旧事業の査定(施設の復旧計画を国に審査してもらう制度)計画の決定、復旧工法についての設計コンサルタントへの指導など、広い範囲で市を支援しています。

また、洪水により水没して動かなくなった排水機場や壊れた取水堰のうち、市民生活に影響の大きな2か所の施設は、いわき市の要請を受けて県営事業で復旧を代行することとしました。

この他にも、「防災重点ため池」(決壊したときに重大な被害を生ずる恐れのあるため池)の緊急点検を農村整備部全員で行うなど、正に部員一丸となっていわき市の農地・農業用施設の災害復旧に汗を流しています。

来年の春、農家の皆さんが少しでも安心して営農ができるようこれからも頑張っていきます。

(農村整備部)



(いわき市との打ち合わせ)



(施設被害調査(小川町))

### 市内小学校で食育活動を実施

〔11月1日(金)〕

「ふくしま食育実践サポーター」の佐藤良治さんによるさつまいもの栽培体験が、好間第一小学校(p.11 地図参照)の2年生児童を対象に5月から実施され、3回目となる今回は収穫したさつまいもの試食・収穫祭が行われました。

今回さつまいもを育てた2年生に1年生を加えた合計95名の児童が佐藤さんとともにふかしたさつまいもを試食し、児童たちは「美味しい!」と声を上げて喜んでいました。



(5月の苗植えの様子)



(佐藤さん(右)の前で発表する児童)

収穫祭では、児童が佐藤さんの前でさつまいもの生長日記を発表し、佐藤さんには手作りの感謝状などが贈られました。

市内で野菜農園を営む佐藤さんには、畑作りや苗植えを継続して児童へ指導やアドバイスを行っていただき、児童にとって作物を育てることの楽しさや難しさを学ぶことができたうえ、地元の農業者と交流する貴重な体験となりました。(企画部)

### 東京海洋大学学園祭 福島海プロジェクト2019〔11月2日(土)・3日(日)〕

県漁業協同組合青壮年部連絡協議会いわき方部会が、東京海洋大学学園祭の福島海プロジェクト2019「福島海プロジェクト2019「福島海プロジェクト2019」の漁師さんと語ろう!」に参加しました。

この催しは安全で安心な県産水産物のPRと福島海プロジェクト2019の沿岸漁業の取組を漁師さん自らも参加して、ご来場の参加者と交流しながら伝えるもので、いわき方部会の若手漁業者のほか、相馬双葉漁協鹿島地区青壮年部や水産海洋研究センター、水産資源研究所も参加しました。



(によろよろマアナゴが人気でした)

当日は、漁業者による実際の操業の様子を映した動画の解説やロープワーク講座のほか、ポスター発表による試験操業の取組や県産水産物の安全性のPRなど、内容盛りだくさんでした。特に人



(ちびっ子漁師! 大漁旗の前でパチリ)

気だったのは大漁旗をバックに漁師になりきって記念撮影をするという新企画で、子どもたちは好きな魚を手にプロ仕様のカッパ姿となり、保護者がスマホを片手にあれこれポーズを指図する様子はとても微笑ましいものでした。中には「かっこいい! 将来は漁師さんになりたい。」と話す子どももおり、参加した漁業者も喜んでいました。

今後もこうした交流イベントを通じて、安全で美味しい福島海プロジェクト2019の魚をPRして本格操業につなげていきたいと思ひます。

(水産事務所)



**いわき農業青年クラブがふれあい農園収穫祭を開催！** 〔11月10日(日)〕

いわき農業青年クラブ連絡協議会(以下、青年クラブ)は、高久公民館(p.11 地図参照)においてふれあい農園収穫祭を開催しました。

ふれあい農園は、一般市民を対象に、自らの手で野菜を育てることを通じて農業への関心と理解、市民同士の繋がりを深めていただくために青年クラブが開設したもので、収穫祭は1年間の最後のイベントとなります。

当日は、農園利用者が持ち寄った野菜とクラブ員が収穫したお米やサツマイモを使って、ヤーコンやサツマイモの天ぷら、菊やキンシウリの甘酢漬、いももち、サツマイモの甘露煮、ジャガイモの炒め物、チヂミや豚汁など数多くの料理が作られ、参加者は収穫の喜びを噛みしめました。最後にはクラブ員から農園利用者に梨やシクラメンなどのお土産も配られ、最後まで楽しまれていました。

ふれあい農園の参加者は随時募集しています。興味のある方は、農業振興普及部(0246-24-6161)までご連絡ください。



(会食の様子)

**森林づくりタウンミーティングを開催**

〔11月13日(水)〕

県では、森林環境の保全や豊かな森林を全ての県民で守り育て未来へ引き継いでいくため、平成18年度から森林環境税を導入しています。

このたび、県民の皆さんにこれまでの取組成果を報告し、ご意見を伺う「森林(もり)づくりタウンミーティング(いわき方部)」を県いわき合同庁舎において開催しました。

県森林計画課から「制度のあらまし」を説明し、当所・いわき市から「森林環境税を活用した事業の実績」を報告した後、参加した36名の市民や森林林業関係者を交えて有意義な意見交換が行われました。

参加者からは、森林林業が抱える課題解決のため、森林環境税制度の継続と制度の拡充を求める声が多く聞かれました。



活発な意見交換により熱気にあふれた会場

(森林林業部)

**第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン**〔11月23日(土)〕

ヨークベニマル内郷店(p.11 地図参照)において、市内の農産物や6次化商品、GAP(農業生産工程管理)を消費者へ紹介するキャンペーンを実施しました。試食によるPRでは、「かつお浅炊き」(福島県漁業協同組合連合会)や「なめこ麻婆」(加茂農産)、「エリンギと生山椒のペースト」(小川きのか園)を提供しました。さらに、アンケートに協力いただいた300名には、安島農園のJGAP認証新米と試食提供した6次化商品をプレゼントしました。

来場者の中には、試食品の販売場所や、GAPの取組内容などに興味を持たれる方が多くいらっしゃいました。

今後も各関係機関と連携し、GAPの認証取得と消費者理解の促進に努めてまいります。(企画部)



(キャンペーンの様子)



## お知らせ

### いわき地方の出荷制限等品目（令和元年10月分）

#### □ 農林畜産物の出荷制限等品目

令和元年10月末日現在、いわき地方の農林畜産物のうち、出荷が制限等されている品目は（表1）のとおりです。

出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値（100Bq/kg）以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。（企画部）

（表1）農林畜産物の出荷制限等品目（令和元年10月末日現在）

制限、自粛	区 分	品 目
出荷制限	山 菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ（野生のものに限る）、わらび（野生のものに限る）*、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ（露地）、野生きのこ（摂取も制限）
出荷自粛	山 菜	さんしょう（野生のものに限る）

※わらび（栽培）は該当生産者12名のほ場に限り出荷制限が解除されました。

#### □ 海産魚介類の出荷制限等品目

令和元年11月15日現在、出荷制限等指示魚種は（表2）の2種類になっています。（水産事務所）

（表2）海産魚介類の出荷制限等品目（令和元年11月15日現在）

制限、自粛	品 目
出荷制限	ピノスガイ、コモンカスベ

### いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果（令和元年10月分）

#### □ 農林畜産物の検査結果

令和元年10月の農林畜産物モニタリング検査では、検査した10品目27検体すべてにおいて放射性セシウムが基準値（100Bq/kg）を超えたものはありませんでした。内訳は（表）のとおりです。（企画部）

（表）放射性セシウムが基準値以下の品目と検体数

菌床しいたけ（施設）9、菌床なめこ（施設）3、そば 1、原木しいたけ（施設）1、食用キク 1、カキ 1、サツマイモ 1、ユズ 1、牛乳 5、原乳 4
--

#### □ 海産魚介類の検査結果

令和元年10月の水産物モニタリング検査では、503 検体の魚介類を検査し、放射性セシウムが基準値（100Bq/kg）を超えたものはありませんでした。（水産事務所）

**注意！**

**台風等による被害木の処理における安全確保について**

台風19号や豪雨災害により、管内の森林で倒木被害が発生しています。

倒木処理に当たっては、伐倒時に不安定な状態にあること、切断時に跳ね返りの恐れがあることなど、労働災害を起こしやすい条件にあり、特に注意深い作業が必要となることから、熟練者が作業を行うなど、安全確保をお願いします。

また、冬場に向けて間伐等の森林整備が本格化する中、県内で死亡事故が発生しておりますので、林業労働災害の未然防止に向けて基本動作の確認や不安全行動の防止に留意願います。(森林林業部)

**注意！**

**河川でのサケ採捕禁止等について**

河川へのサケの遡上そじょうシーズンとなりましたが、水産資源保護法及び福島県内水面漁業調整規則において河川でのサケの採捕は、増殖等を目的に許可を受けた方以外、禁止されています。

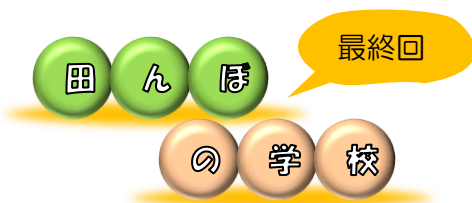
また、福島県漁業調整規則により、河口付近の海域におけるサケを含む水産動植物の採捕が、以下の対象河川、区域及び期間において禁止されています。

釣り等を行う際は、御注意ください。

対象河川	禁止区域	期間
真野川、新田川、請戸川、熊川、富岡川、井出川、木戸川、夏井川、鮫川	最大高潮時における河口中央から半径 550m以内の海域	毎年9月1日から翌年5月31日まで

詳しくは、水産事務所(0246-24-6175)までお問い合わせください。

(水産事務所)



**成果発表会・閉校式を実施！**

11月12日(火)

いわき市立菊田小学校の5年生児童82名が、同小学校体育館で田んぼの学校成果発表会と閉校式を行いました。

成果発表会では、本年5月から田んぼの学校の活動として行ってきた、「苗植体験活動」・「生きもの調査活動」・「収穫、実食体験活動」を、それぞれ1組・2組・3組が、プロジェクトや模造紙で発表を行いました。

イラストやクイズを盛り込むことで、楽しく分かりやすくまとめ、元気に発表できました。

児童たちに感想を述べてもらい、集合写真を撮影し修了となりました。各組1名の代表児童による発表の予定でしたが、「私も、私も！」と手が挙がり、多くの感想が発表されました。「普段は行わない、苗植えや生きもの調査が楽しかった。」「マコモダケを知らなかったが、様々な食べ方があり、おいしさに驚いた。」など、児童たちにとっては素晴らしい体験として、この1年を締めくくることができました。(農村整備部)



(成果発表会の様子)



(閉校式の様子)

イベント情報

いわき地域産業6次化ネットワーク交流会

- 日 時：令和元年12月6日(金) 13:15~16:30
- 会 場：県いわき合同庁舎 4階大会議室  
(いわき市平字梅本 15)
- 参加費：無料
- 主 催：福島県いわき農林事務所

参加費無料!  
当日参加可能!

株式会社タンク代表取締役増田紀彦氏による「6次化商品の売れる見せ方・伝え方」、いわきユナイト株式会社代表取締役植松謙氏による「現場で感じる販路開拓のポイント(お土産編)」の講演のほか各講師との個別相談会(要事前申込)を実施します。また、当所及びいわき市保健所による食品表示法に関する研修会も行います。当日参加も可能ですので、是非ご参加ください!

お問い合わせ&お申し込み

いわき農林事務所 企画部 TEL:0246-24-6197  
当所ホームページから申込用紙をダウンロードしてお申し込みください。

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/16jikanet.html>

**参加無料**  
令和元年度いわき地域産業6次化ネットワーク交流会参加者募集中



第1期 講演講師  
**増田紀彦 氏**  
株式会社タンク 代表取締役



第2期 講演講師  
**植松 謙 氏**  
いわきユナイト株式会社 代表取締役

演題「6次化商品の売れる見せ方・伝え方」演題「現場で感じる販路開拓のポイント」(お土産編)

**増田氏のプロフィール**  
1970年生まれ。いわき市出身。株式会社タンク代表取締役。お土産商品の開発・販売に専念。9年連続東北産物博覧会「おみやげ」を創出。現在は「東北産物博覧会」事務局に所属。お土産商品の開発・販売に専念。9年連続東北産物博覧会「おみやげ」を創出。現在は「東北産物博覧会」事務局に所属。お土産商品の開発・販売に専念。9年連続東北産物博覧会「おみやげ」を創出。現在は「東北産物博覧会」事務局に所属。

**植松氏のプロフィール**  
1979年生まれ。いわき市出身。株式会社ユナイト代表取締役。お土産商品の開発・販売に専念。9年連続東北産物博覧会「おみやげ」を創出。現在は「東北産物博覧会」事務局に所属。お土産商品の開発・販売に専念。9年連続東北産物博覧会「おみやげ」を創出。現在は「東北産物博覧会」事務局に所属。

＜開催日時＞  
2019年 **12月6日** (金)  
会場 福島県いわき合同庁舎 4階大会議室  
時間 13:15-16:30 参加費 無料  
定員 定員50名 (要事前)

食品表示法研修会  
食品の表示に関する研修会を開催します。食品表示法に関する研修会を開催します。食品表示法に関する研修会を開催します。

主催 福島県いわき農林事務所



**ふくしまおさかなフェスティバル in いわき**  
12/1日 10:00~15:00  
小名浜魚市場

子ども大人も楽しめるイベント盛りだくさん!

- 無料 200食 無料
- 大人気! 100食 100円
- ふるまい郷土料理 メヒカリ唐揚げふるまい!
- バーチャル水族館
- 福島県産の魚販売

ふくしまおさかなフェスティバル in いわき

- 日 時：令和元年12月1日(日) 10:00~15:00
- 会 場：小名浜魚市場 (p.11 地図参照)
- 主 催：ふくしまおさかなフェスティバル実行委員会

県内4会場で開催するふくしまおさかなフェスティバル、12月はいわきで開催します!

福島県産の魚の販売のほか、サンマのつかみどり(午前・午後の各回先着100名限定)、メヒカリの唐揚げのふるまい(先着1000食限定)、いわき海星高校生が考えた魚料理のふるまい(先着200食無料)などを実施します。他にも大人も子どもも楽しめる魚に関する楽しいイベントが盛りだくさんです!

さらに、福島県水産海洋研究センター参観デーも同日開催!(無料シャトルバス運行) 魚拓づくり体験やおさかな解剖体験、かまぼこづくり体験などおさかなに関する様々な体験が楽しめます!また、7月にオープンした新庁舎の見学ツアーも実施します。是非、お越しください!



第3回高校生レシピコンテスト オリジナルレシピ大募集!

いわき市の高校生を対象としたレシピコンテストを開催します! 2次審査進出作品(5作品)の中から市内飲食店で提供される期間限定メニューが決定されます。また、市内スーパーでお惣菜メニューとして棚に並ぶかも! たくさんのご応募お待ちしております!

■募集内容

いわき産トマト・きのこ・ネギ・Iwaki Laiki(米・米粉)を使ったオリジナル料理(ジャンルは不問・組み合わせ自由)

■応募方法

当所ホームページから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入するとともに、作品の写真2枚を添付し、郵送またはEメールにてご応募ください。

URL : <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>

■応募先&お問い合わせ

〒970-8026 いわき市平九品寺町 1-13 優和ビ 2F

株式会社福島インフォメーションリサーチ&マネジメント「第3回高校生レシピコンテスト」係

電子メール : [info@f-irm.com](mailto:info@f-irm.com) TEL : 080-5738-1433

■募集期限 令和元年12月18日(水) 必着

■主催 福島県いわき農林事務所(受託会社:株式会社福島インフォメーションリサーチ&マネジメント)

■協賛 株式会社いわきスポーツクラブ・株式会社47PLANNING 常磐共同ガス株式会社

福島さくら農業協同組はいわき地区本部 株式会社マルト 株式会社マルベリー

株式会社ワンダーファーム(50音順)

■後援 いわき市



高校生レシピコンテスト 過去の主な受賞作品

<第1回>



料理部門グランプリ  
「トマトとマッシュルームの炒め物」



スイーツ部門グランプリ  
「カラフルトマトのレアチーズ」



グランプリ  
「いわキッシュ」



準グランプリ  
「地元愛たっぷり♡イタリアンぎょうざ」

高校生が考えた  
オリジナルレシピを  
作ってみよう!

## 第2回高校生レシピコンテスト 受賞レシピ紹介

Vol.3

### 彩り米粉のケーキサレ (カレー味・トマトバジル味)

小澤 萌さん、小野 留奈さん、  
蛭田 かすみさん

福島県立勿来高等学校 2年 (受賞時)

調理時間:60分

食材費(4人分):約2,000円



#### 材料・分量(4人分)

- しいたけ ..... 4本
- 玉ねぎ .. 100g(1/2個)
- 長ネギ ..... 40g
- 青ピーマン .. 60g(2個)
- 黄ピーマン・60g(1/2個)
- 厚切りベーコン .... 200g
- トマト(トマトバジル味用)  
..... 220g
- ★ミニトマト(飾り用) .. 8個
- チーズ ..... 40g
- バジル ..... 4枚
- 卵 ..... 6個
- ★オリーブオイル .. 大さじ6
- オリーブオイル(炒め用)
- ★米粉 ..... 300g
- ★ベーキングパウダー .. 12g
- 塩 ..... 小さじ1/2
- コショウ ..... 1g
- コンソメ ..... 10g
- カレー粉・小さじ2と1/2
- 牛乳 ..... 150g

★の材料はカレー味・トマトバジル味で使用する合計分量です。あらかじめ半分に分けて調理してください。

#### 作り方・手順

- ①しいたけ、玉ねぎ、青ピーマン、黄ピーマン、厚切りベーコンは1cm角に切り、長ネギは斜めの薄切りにする  
トマトは湯むきして、種を取り、ジューサーでペーストにする  
ミニトマトは湯むきする。バジルはみじん切りにする  
オーブンを180度に予熱する
  - ②フライパンにオリーブオイル(炒め用)を熱し、厚切りベーコンを炒めてから、玉ねぎ、しいたけ、青ピーマン、黄ピーマン、長ネギの順番にしんなりするまで炒め、塩・コショウで味を調える
  - ③②を半分に分ける
- 【カレー味】**

  - ④米粉、カレー粉、ベーキングパウダーを混ぜる
  - ⑤卵と牛乳、オリーブオイルを入れ、なめらかになるまで混ぜ、生地を作る
  - ⑥③で半分に分けた具材を生地に混ぜる

**【トマトバジル味】**

  - ④③の片方にバジルを加えて、サッと炒めて火を消し、粗熱を取る
  - ⑤ボウルに米粉、ベーキングパウダー、コンソメを入れて混ぜる
  - ⑥⑤にトマトペーストと卵、オリーブオイルを入れ、持ち上げるとリボン状になるようななめらかさになるよう調整しながら混ぜ、生地を作る
  - ⑦④の具材を生地に混ぜる
- ⑧型に半分の量を入れて平らにならしたらチーズを散らす
  - ⑨残りの生地を型に流し、中の空気を抜きながら平らにならす
  - ⑩ミニトマトを均等になるように表面に飾る
  - ⑪180度のオーブんにいれて、30分焼く
  - ⑫竹串を通し、中まで焼けたら型から外し、切り分けて皿に盛りつける  
焼きが足りない時は5分ずつ長くして焼く

#### COMMENTS

いわきライキの消費拡大にもつながると思い、米粉を使ったレシピを考えました。そこで、彩り豊かないわき産の野菜をごろっと入れることで、食べ応え抜群なケーキサレに仕上げることができました。野菜嫌いなお子様でも食べやすいカレー味と、バジルが爽やかに香るトマトバジル味の2種類です。

こちらのレシピは、クックパッド福島県公式キッチン「はら食っち～な ふくしま」にも掲載されています。他にも魅力的なレシピが盛りだくさん！是非チェックしてみてください！

「はら食っち～な ふくしま」URL : <https://cookpad.com/kitchen/14983926>

# GAP コーナー

## GAP (Good Agricultural Practice) : 「農業生産工程管理」

### GAP 取得事例紹介 ～浜の野菜株式会社～

浜の野菜株式会社 (p.11 地図参照) (代表取締役: 根本和彦氏) は、農業生産システムの研究開発事業を行うエコエネルギーシステムズ株式会社が、自社で開発した地温制御システムを農業の現場で実用化することを目的として、平成29年11月に設立されました。

栽培開始当初から、地温制御システムの導入とあわせて、生産工程のシステム化を目指してGAPに取り組むことを決意され、今年度、小松菜・ほうれんそうでJGAPの認証を取得しました。

根本氏はGAPの認証取得にあたって、「手書きしていた栽培日誌のデータ化や各種書類の整備に苦労したものの、取得後は従業員の意識が変わったことを実感している」と語られていました。具体的には、病害虫が発生した際、従業員がデータを元に原因や対策について議論する場面などが見られ、作業日報をつける意味が深く理解され始めたと感じられているそうです。また、商談会ではバイヤーの目に留まりやすいなど、少しずつ販売面での効果も感じられているそうです。



(代表取締役の根本氏)



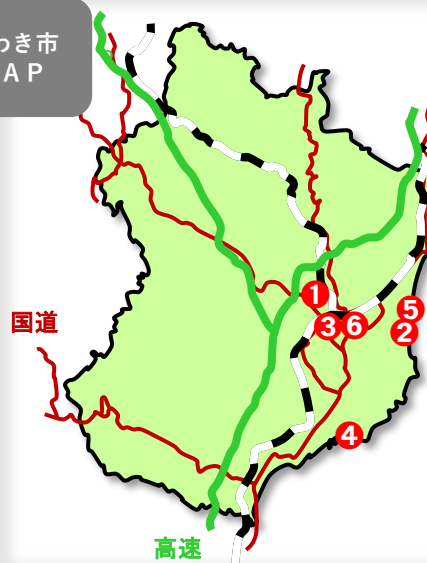
(農薬保管庫、農薬散布資材等の保管状況)

☆GAPについて詳しく知りたい、又は取り組んでみたい方は、農業振興普及部経営支援課(0246-24-6162)までお気軽に御連絡ください。  
(農業振興普及部)

### 今月号に掲載した場所はここです！

- ① 好間第一小学校 (p.4)  
好間町上好間馬場前 28
- ② 高久公民館 (p.5)  
平下高久水門 100
- ③ ヨークベニマル内郷店 (p.5)  
内郷御殿町 3-150
- ④ 小名浜魚市場 (p.8)  
小名浜辰巳町 41
- ⑤ 浜の野菜株式会社 (p.11)  
平下神谷字南内記 25 (アグリパークいわき内)
- ⑥ (株) いわきテレワークセンター (p.12)  
平小太郎町 3-9

いわき市  
MAP



## こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します！

いわき市神谷地区産の天のつづを使用した「純米吟醸 神谷(かべや)」は「ふるさとマルシェ」(運営:(株)いわきテレワークセンター)でプロデュースされた商品です。

神谷地区は江戸時代から、米の耕作に適した土地であり、その味は美味しいと定評があります。この伝統ある米作りを後世に継承していきたいという思いから、神谷地区で収穫した米を使った日本酒の開発に乗り出し、「ふるさとマルシェ」と米農家、渡辺酒造本店(郡山市)が協力して純米吟醸 神谷が開発されました。

芳醇でスッキリとした飲み口は、料理をより引き立たせる味に仕上がっています。また、ワイン感覚で飲むことができるため、女性にも人気です。

市内のJA直売所、道の駅四倉、ローソンいわき平中神谷店のほか、ふるさとマルシェ YAHOO!店 (URL:<https://store.shopping.yahoo.co.jp/midorinomarche/>)でも販売されております。こだわりの日本酒を是非お召し上がりください。



写真左:(株)いわきテレワークセンター 代表取締役 会田氏 写真右:同顧問 志賀氏



お問い合わせ (株)いわきテレワークセンター  
●いわき市平小太郎町3-9●TEL.0120-454-322  
HP:<http://www.furusatomarche.com/>

所在地は p.11 のマップを参照



## 編集後記

続報でお伝えしたように先月の台風等による被害は甚大で、いわき管内の農林業被害は計約58億円にのぼりました。引き続き復旧に向けた支援に取り組んでまいります。

また、台風の影響で中止となっていた第3回「おいしいふくしま いただきます!」キャンペーンですが、延期開催し大盛況のうちに終えることができました。今回もアンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました!

さて、今年も高校生レシピコンテスト(p.9)の募集がスタート!いわきの農産物を使ったレシピと一緒にいわきを盛り上げましょう!ご応募お待ちしております。

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課  
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地  
(県いわき合同庁舎 3階)

T E L (0246)24-6152 F A X (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース